



2026年5月期 決算説明会

株式会社シー・エス・ランバー

(東証スタンダード：7808)

2026年7月29日開催



目次

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

05 参考資料

01

当社の概要

- 01 当社の概要
- 02 2026年5月期 決算概要
- 03 2027年5月期 業績予想
- 04 中期経営計画2028 進捗状況
- 05 参考資料

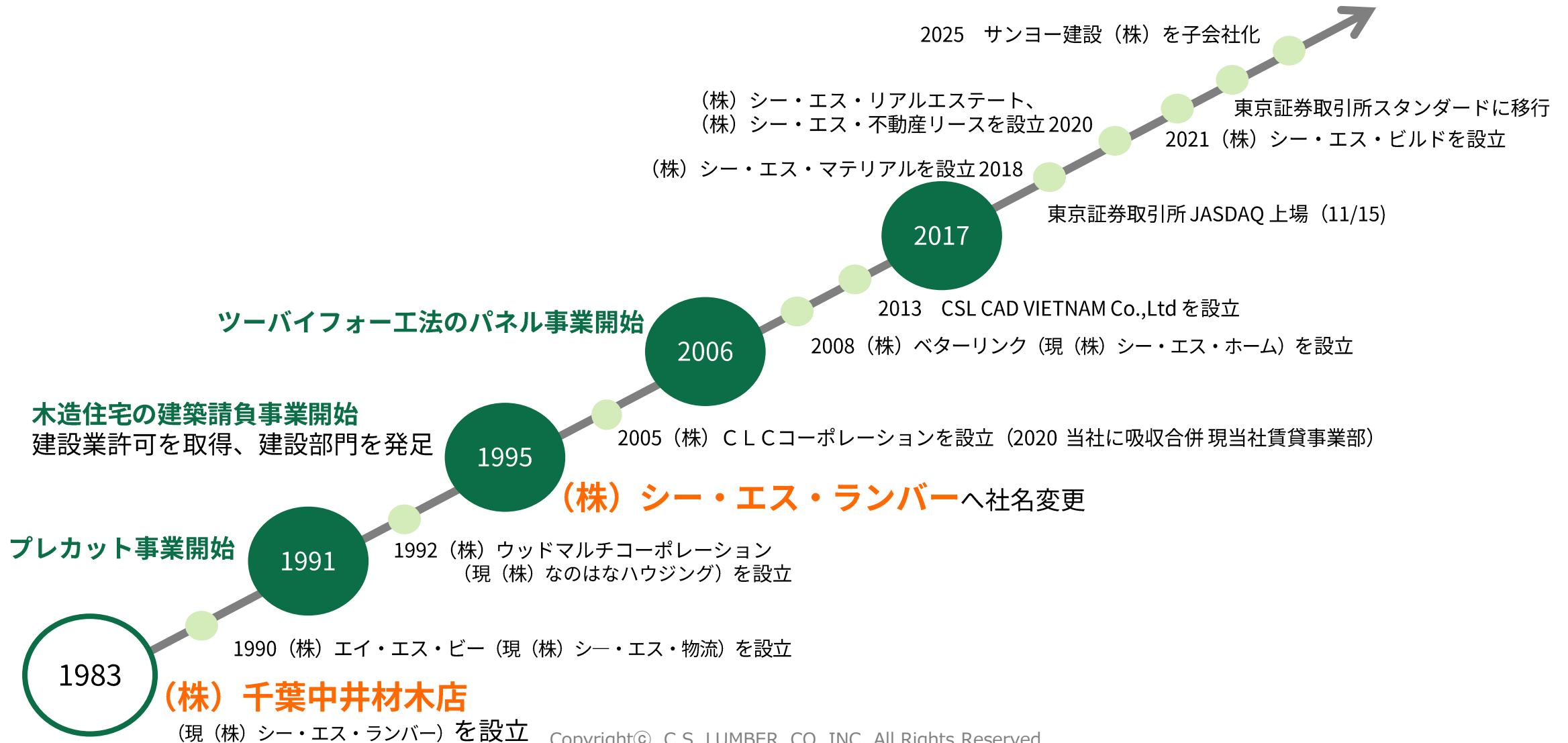
Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

会 社 名	株式会社シー・エス・ランバー（東証スタンダード：7808）
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号
代 表 者	代表取締役社長 中井 千代助
設 立	1983年4月1日
資 本 金	536百万円
事業内容	1. プレカット事業 ●在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ●ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 2. 建築請負事業 ●木造住宅・大型木造施設の建築請負 3. 不動産賃貸事業 ●不動産賃貸・管理 4. その他事業 ●不動産の販売
従業員数	連結 320名 他に臨時従業員 135名

（2026年5月末現在）

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



02

2026年5月期 決算概要

- 01 当社の概要
- 02 2026年5月期 決算概要
- 03 2027年5月期 業績予想
- 04 中期経営計画2028 進捗状況
- 05 参考資料

2026年 5 月期 決算概要

- 売上高20,381百万円(前期比△1.4%)、経常利益1,002百万円(同△40.4%)、当期純利益693百万円(同△40.1%)。
- プレカット事業の販売価格低迷と出荷棟数減少により前期比減収減益。
- 建築請負事業は二桁増収、不動産賃貸事業は二桁の増収増益。

単位：百万円	2025年 5 月期		2026年 5 月期			
	実績		実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	20,673	100.0%	20,381	100.0%	△291	△1.4%
プレカット	15,249	73.8%	14,430	70.8%	△819	△5.4%
建築請負	5,170	25.0%	5,814	28.5%	644	12.5%
不動産賃貸	1,123	5.4%	1,344	6.6%	220	19.6%
その他	356	1.7%	207	1.0%	△149	△42.0%
粗利益	4,333	20.9%	3,813	18.7%	△519	△12.0%
プレカット	3,070	14.8%	2,402	11.8%	△668	△21.8%
建築請負	630	3.0%	718	3.5%	88	14.1%
不動産賃貸	585	2.8%	684	3.4%	99	17.0%
その他	45	0.2%	25	0.1%	△20	△43.6%
販売費及び一般管理費	2,558	12.4%	2,679	13.1%	120	4.7%
営業利益（セグメント利益）	1,774	8.6%	1,134	5.6%	△640	△36.1%
プレカット	745	3.6%	55	0.3%	△690	△92.5%
建築請負	369	1.8%	336	1.7%	△32	△8.8%
不動産賃貸	579	2.8%	675	3.3%	96	16.6%
その他	▲1	▲0.0%	6	0.0%	8	-
経常利益	1,680	8.1%	1,002	4.9%	△678	△40.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157	5.6%	693	3.4%	△464	△40.1%

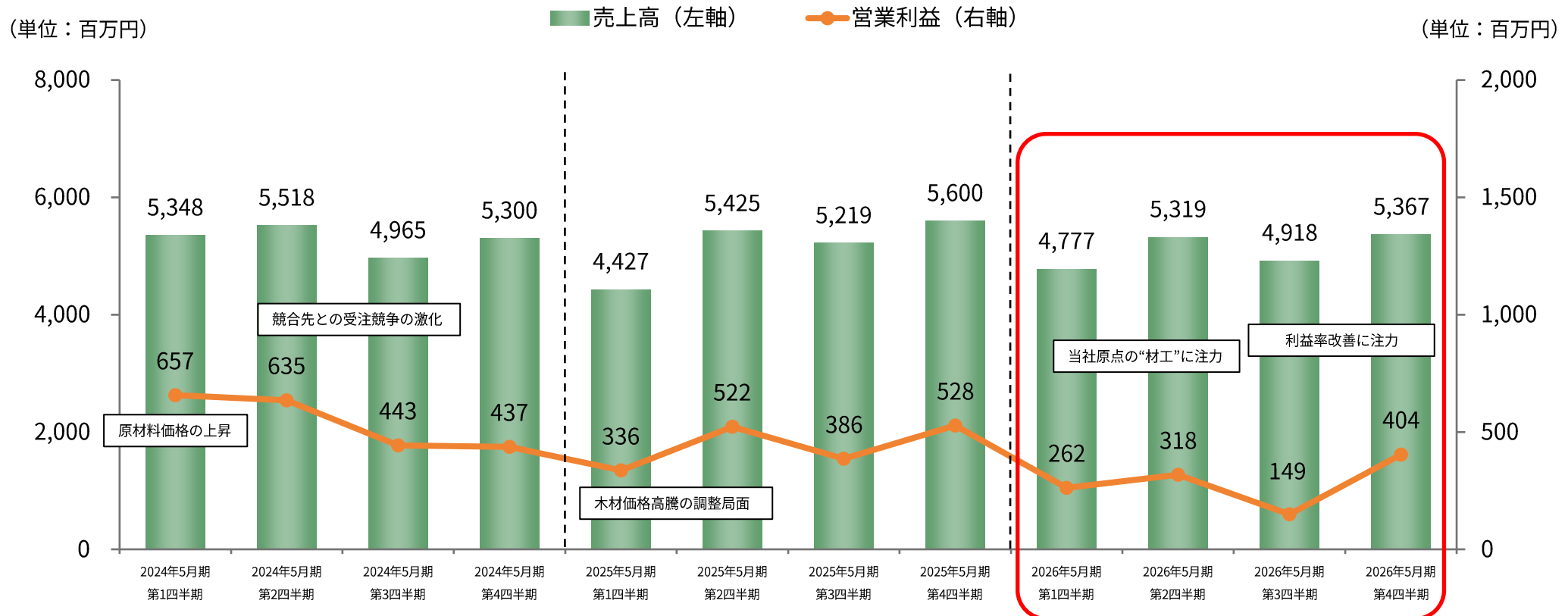
2026年5月期業績推移

■新設住宅着工戸数の減少等、経営環境が厳しいなか、営業力強化、「材工一体」での提供、建築請負事業のエリア拡大等により、売上高は概ね横這いを維持。

■営業利益は、低水準で推移したが、建築請負事業の収益性向上や賃貸物件取得による賃料収入増加により、第4四半期は404百万円と回復。出荷棟数の増加と利益率改善が引き続き課題。

※「材工」建築資材と建て方工事。

「建て方工事」現場で建物の主要な構造材を組立てること。木造住宅では、土台の据付から柱、梁、棟上げまでの作業工程。

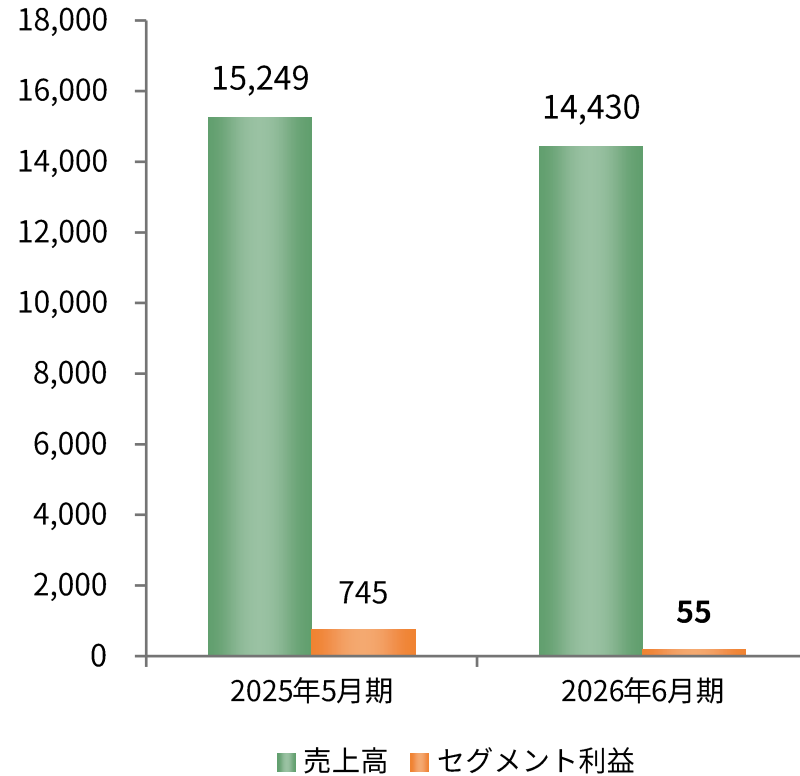


2026年5月期 プレカット事業（前年比）

■新設住宅着工戸数の減少と受注競争の激化により出荷棟数は5,106棟（△6.9%）、販売価格の低迷も重なり売上高は14,430百万円（△5.4%）の減収。

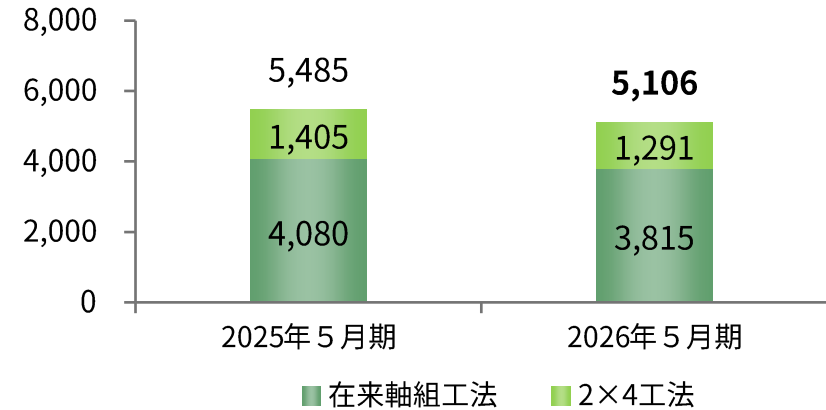
売上高・セグメント利益

（単位：百万円）



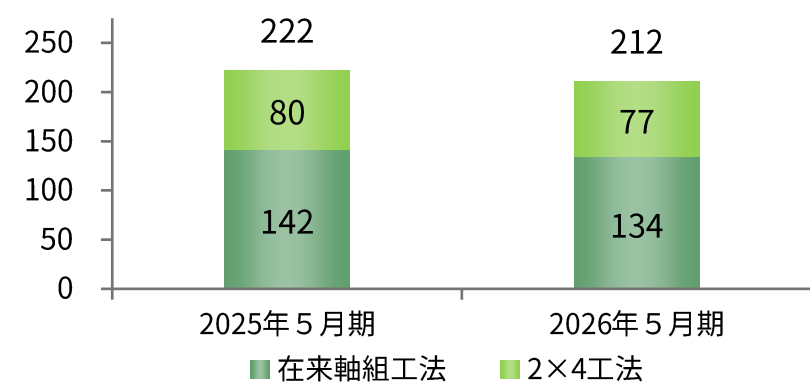
出荷棟数

（単位：棟）



出荷坪数

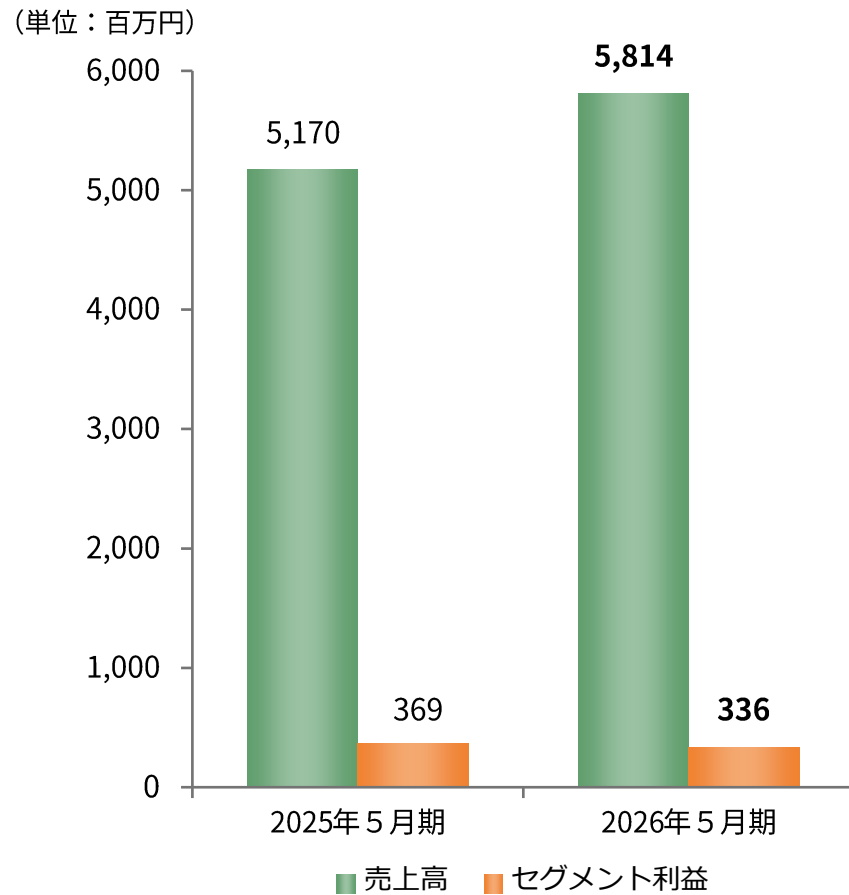
（単位：千坪）



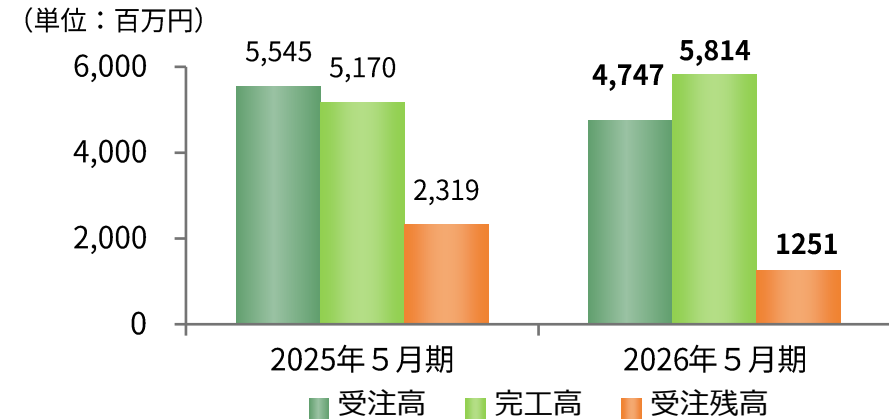
2026年5月期 建築請負事業（前年比）

- 完工の進捗により売上高は5,814百万円（+12.5%）と増収も、セグメント利益は336百万円（前期比△8.8%）と減益。
- 大型（50坪以上）木造施設の着工は棟数20棟、請負金額2,693百万円（+27.6%）と案件の大型化が進展。

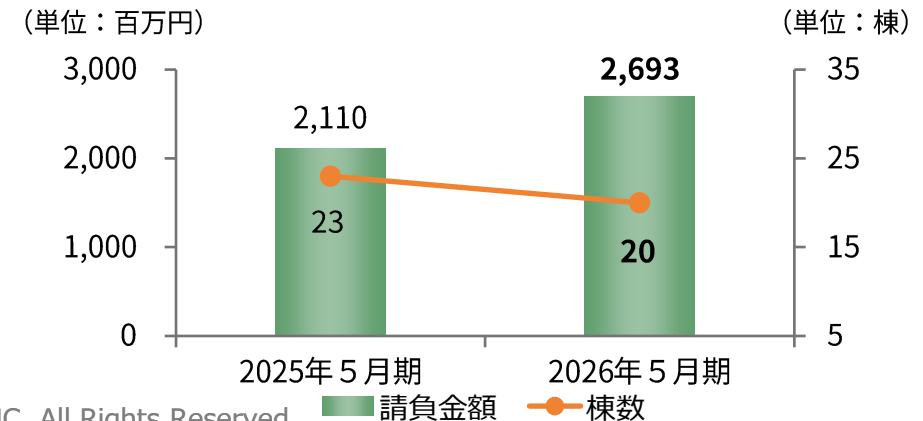
売上高・セグメント利益



受注・完工・受注残



大型（50坪以上）木造住宅・施設着工棟数

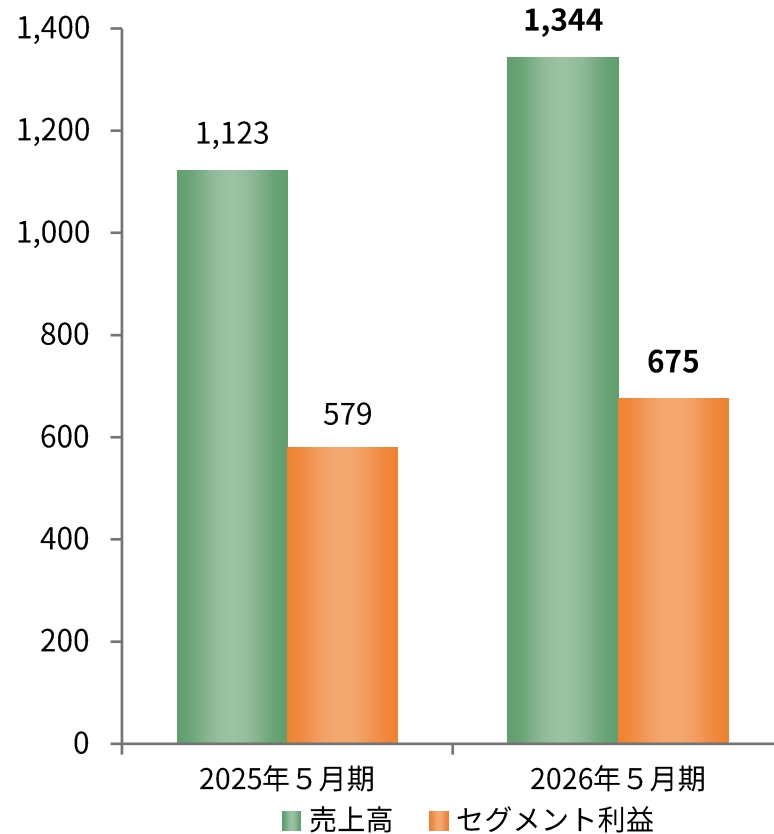


2026年5月期不動産賃貸事業（前年比）

■新規物件の取得により賃貸及び管理棟数は66棟（前期比+11棟）に拡大し、売上高1,344百万円（+19.6%）、セグメント利益675百万円（+16.6%）の増収増益。

売上高・セグメント利益

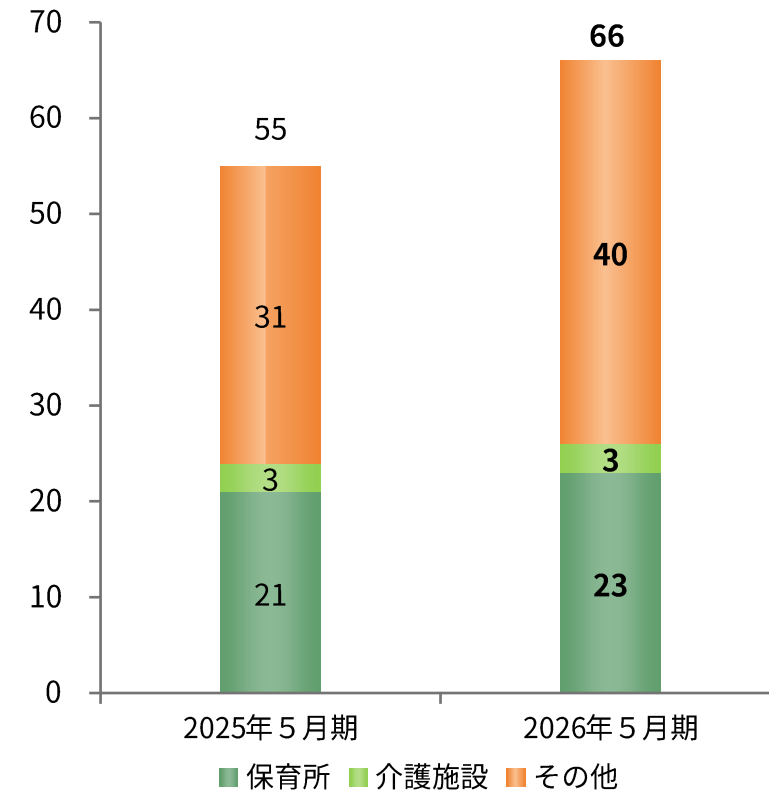
(単位：百万円)



賃貸収入の推移については32ページをご参照ください

賃貸及び管理棟数

(単位：棟)

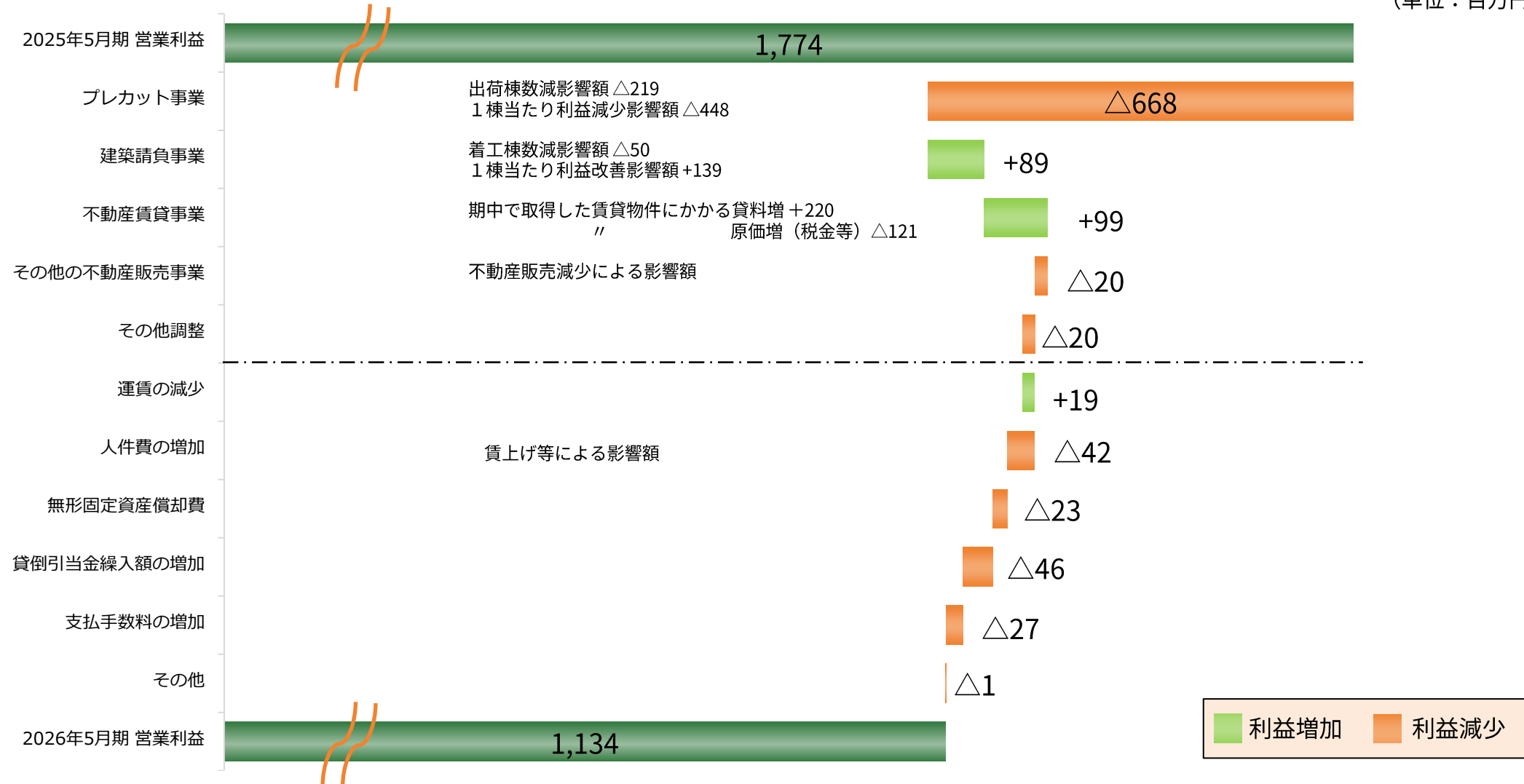


保育所23物件 その他43物件から安定した賃貸収入

2026年5月期 営業利益の増減（前年比）

■前年同期比での営業利益減少要因は、プレカット事業の下振れ（出荷棟数減少、1棟当たり利益減少）。

（単位：百万円）



2026年5月期 貸借対照表

- 有形固定資産の増加（+3,570百万円）により総資産は30,279百万円（前期末比+12.4%）に拡大。
- 賃貸物件の取得資金は長期借入金で調達し、短期借入金は295百万円圧縮。長期資産に長期資金を対応させた調達構造を維持。
- 自己資本比率は39.2%（前期末41.9%）に低下も、株主資本は545百万円増加、現金及び預金は5,054百万円と手元流動性を確保。

単位：百万円	2025年5月期		2026年5月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	9,569	35.5%	9,233	30.5%	△336	△3.5%
現金及び預金	5,045	18.7%	5,054	16.7%	9	0.2%
受取手形、 売掛金及び契約資産	3,275	12.2%	2,841	9.4%	△434	△13.3%
商品及び製品	69	0.3%	48	0.2%	△20	△29.9%
販売用不動産	330	1.2%	241	0.8%	△88	△26.9%
仕掛品	261	1.0%	328	1.1%	66	25.5%
原材料及び貯蔵品	481	1.8%	581	1.9%	100	20.8%
その他	106	0.4%	138	0.5%	31	30.0%
固定資産	17,368	64.5%	21,045	69.5%	3,677	21.2%
有形固定資産	16,427	61.0%	19,998	66.0%	3,570	21.7%
無形固定資産	197	0.7%	242	0.8%	44	22.6%
投資その他の資産	743	2.8%	805	2.7%	61	8.3%
資産合計	26,938	100.0%	30,279	100.0%	3,340	12.4%

単位：百万円	2025年5月期		2026年5月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動負債	7,937	29.5%	7,993	26.4%	55	0.7%
支払手形及び買掛金	3,646	13.5%	4,014	13.3%	367	10.1%
短期借入金	2,200	8.2%	1,905	6.3%	△295	△13.4%
1年内償還予定の社債	230	0.9%	190	0.6%	△40	△17.4%
1年以内返済予定の 長期借入金	554	2.1%	769	2.5%	214	38.7%
リース債務	74	0.3%	87	0.3%	13	17.9%
未払い法人税等	202	0.8%	123	0.4%	△79	△39.3%
その他	1,029	3.8%	903	3.0%	△125	△12.2%
固定負債	7,711	28.6%	10,403	34.4%	2,691	34.9%
長期借入金	6,620	24.6%	9,201	30.4%	2,580	39.0%
リース債務	135	0.5%	369	1.2%	233	172.9%
その他	955	3.5%	832	2.8%	△123	△12.8%
負債合計	15,649	58.1%	18,396	60.8%	2,746	17.6%
株主資本合計	11,177	41.5%	11,722	38.7%	545	4.9%
純資産合計	11,289	41.9%	11,883	39.2%	594	5.3%
負債純資産合計	26,938	100.0%	30,279	100.0%	3,340	12.4%

2026年5月期 キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは1,835百万円のプラスを確保（前期2,155百万円）。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは△4,610百万円。固定資産の取得（△3,743百万円）を中心に、前期に続き積極的な設備投資を継続。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による調達を主因に1,940百万円の増加。投資資金を長期資金で賄う構造を維持し、現金及び現金同等物の期末残高は2,475百万円。

単位：百万円	2025年5月期	2026年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,155	1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,547	△4,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,585	1,940
現金及び現金同等物の増減額	△1,810	△836
現金及び現金同等物の期首残高	5,122	3,311
現金及び現金同等物の期末残高	3,311	2,475

単位：百万円	2025年5月期	2026年5月期
固定資産の取得による支出	△3,769	△3,743
減価償却費	420	569

03

2027年5月期 業績予想

- 01 当社の概要
- 02 2026年5月期 決算概要
- 03 2027年5月期 業績予想
- 04 中期経営計画2028 進捗状況
- 05 参考資料

- 新設住宅着工戸数の伸び悩み、競合他社との価格競争の激化が継続する予想。
- 売上高は、前期比 103.0%に留まるが、徹底した歩留まりの追求や「材工一体」営業により利益水準を確保。

	2026年5月期 実績	2027年5月期 業績予想	前期比
売上高	203億円	210億円	103.0%
経常利益	10億円	12.7億円	126.7%
経常利益率	4.9%	6.0%	—
純利益	7.0億円	9.1億円	131.3%

2027年5月期 重点施策

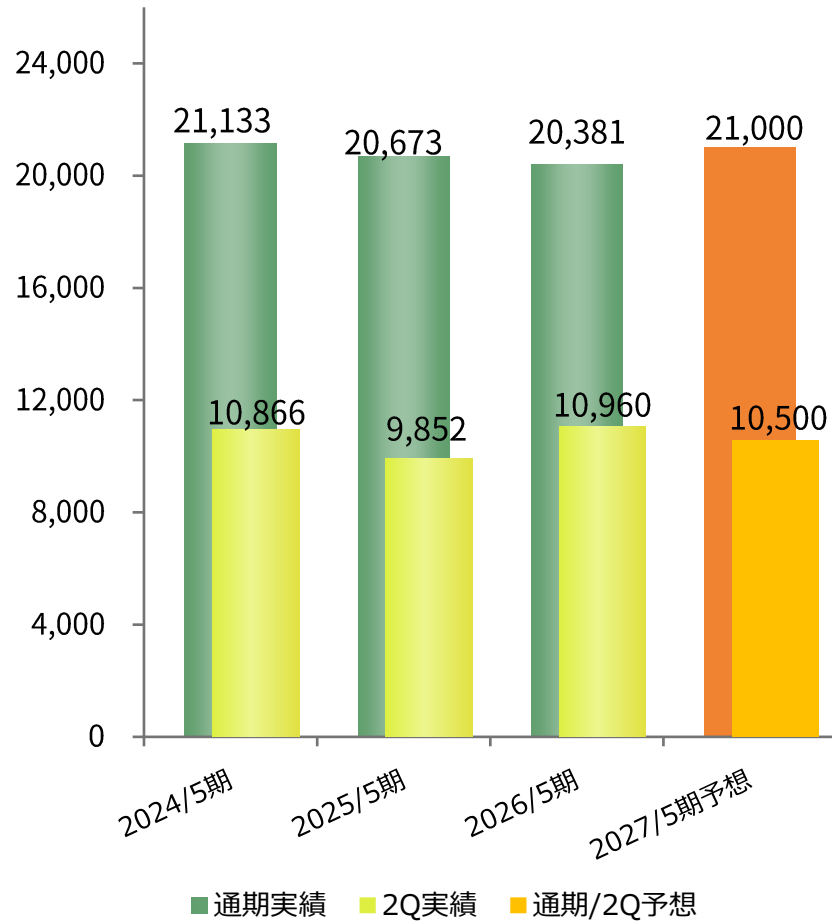
- ✓材工一括受注の提案強化：大工職人（建て方／内装）の紹介と併せた受注強化
- ✓歩留りの追求：仕入の工夫、徹底した端材の有効活用、樹種提案力強化
- ✓賃貸物件への積極的投資：安定的な賃料収入と底堅い利益の確保に向けた優良賃貸物件の取得

2027年5月期 業績予想

■2027年5月期は、売上高は前期比103.0%、営業利益は同131.4%と予想。

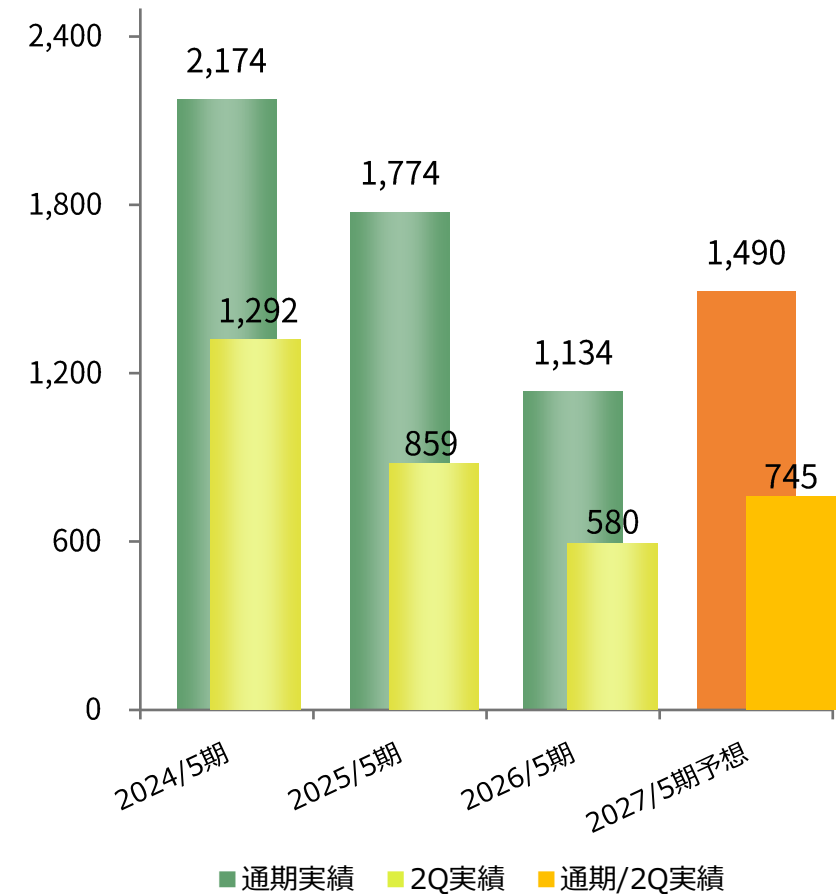
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



- プレカット事業は、「材工一体」の取組により出荷棟数を確保していくことで増収増益を見込む。
- 建築請負事業は、大手取引先からの安定的な受注の確保、非住宅案件の受注により売上アップ。

(単位：百万円)	売上高	前期比	セグメント利益	前期比
プレカット	17,045	118.1%	410	745.0%
建築請負	6,019	103.5%	350	101.0%
不動産賃貸	1,451	108.0%	500	76.0%
その他	169	81.5%	5	85.0%

2027年5月期 業績予想

プレカット事業	2027年5月期	前期比	不動産賃貸事業	2027年5月期	前期比
プレカット棟数	5,329棟	104.0%	保育所賃貸数	23物件	100.0%
プレカット坪数	215千坪	101.6%	福祉施設・ アパート等賃貸数	53物件	123.3%
トラック保有台数	25台	100.0%			
建て方棟数	742棟	102.3%			
建築請負事業	2027年5月期	前期比	不動産販売事業	2027年5月期	前期比
建築完工	205棟	109.2%	販売区画数	21区画	233.3%
大型木造施設	21棟	77.8%			

■2027年5月期の配当は80円を予想。

配当政策の基本方針

将来の事業展開と経営体質強化
に必要な内部留保の強化

継続性・安定性

経営成績に応じた
配当の実施

<内部留保強化の必要性>

安定した経営基盤の確立、持続的成長、長期的な企業価値向上

(施策) ・財務体質強化のための借入金の返済

・プレカット製品の安定供給を可能にするための将来の投資

配当金額

2024年5月期 1株当たり年間配当金 (実績) : 80円 (期末80円)

2025年5月期 1株当たり年間配当金 (実績) : 80円 (期末80円)

2026年5月期 1株当たり年間配当金 (実績) : 80円 (期末80円)

04

中期経営計画2028 進捗状況

- 01 当社の概要
- 02 2026年5月期 決算概要
- 03 2027年5月期 業績予想
- 04 中期経営計画2028 進捗状況
- 05 参考資料

社是・経営理念

Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

- 一、我社は、木造住宅資材の販売流通を通して社会に貢献する。
- 二、我社は、顧客満足と会社の繁栄、社員の幸福を一致させる。
- 三、我社は、数値に基づく行動と現場主義の徹底を行動原理とする。

目指す将来像

創業50周年(2032年)を迎えるシー・エス・ランバーグループの目指す将来像

中期経営計画 2028

- ▶ 新設住宅着工戸数が減少する中、競合他社との価格競争が厳しいことから建て方を提案する『材工』でのプレカット販売を強化
- ▶ 安定的な収益源として賃貸収益物件を中心とした不動産事業の増強

高品質なプレカット製品の提供を
通じた顧客満足の追求



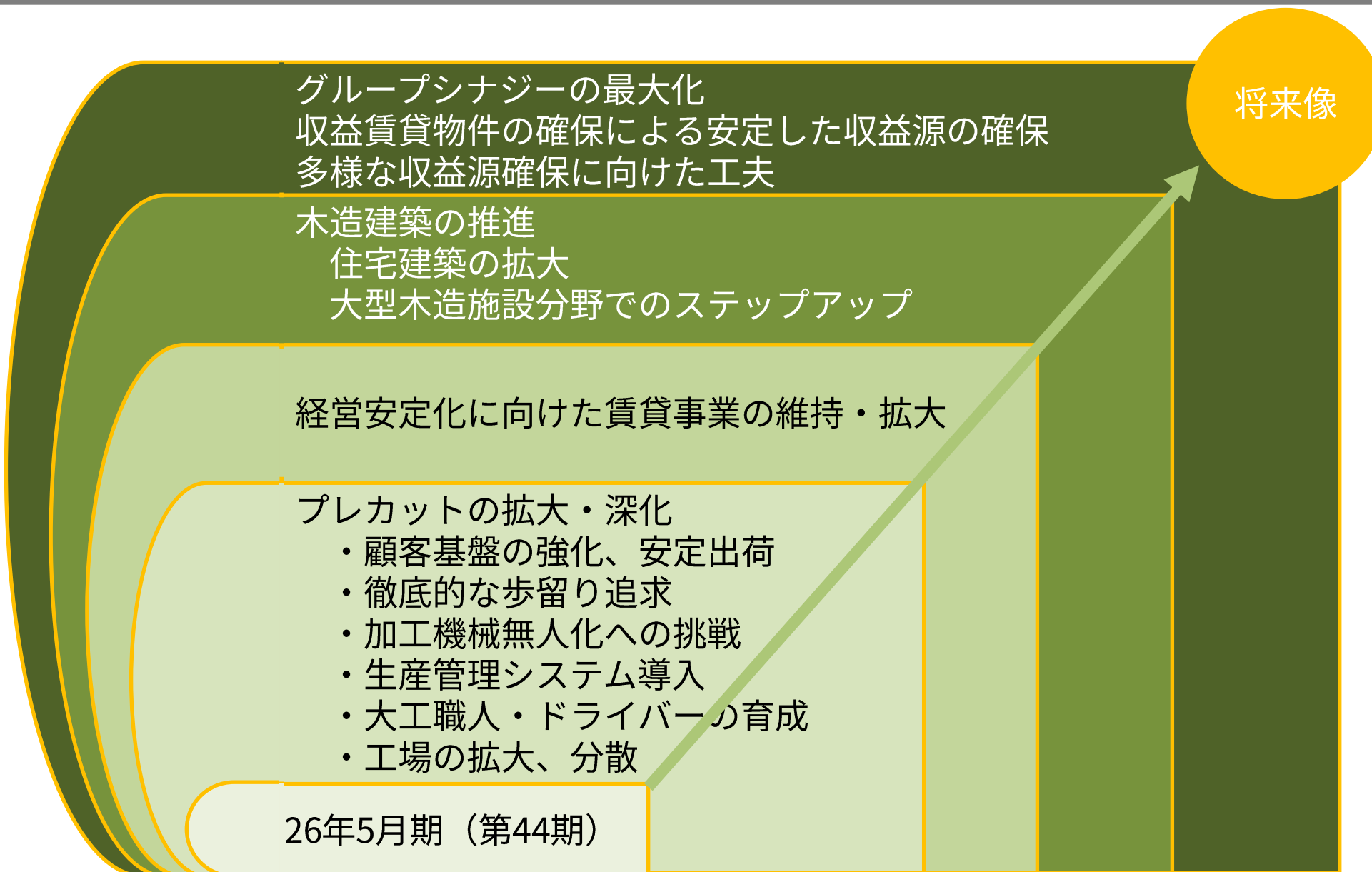
賃貸事業からの安定的な収益を背景に
創意工夫を通じて進化



プレカット販売を基盤としつつ、
プレカット販売の枠にとらわれることなく
創意工夫で多様な収益源を創りながら、
事業の拡大、成長を続ける企業集団を目指す。

基盤となるプレカット販売では、

- ▶ 建て方提案を伴う『材工』での販路拡大
- ▶ サイディングプレカットへの参入
- ▶ 工場の無人化に挑戦



中期経営計画2028進捗

	2026年5月期	中期経営計画目標 2028年5月期
プレカット棟数	5,106棟	5,900棟
プレカット坪数	212千坪	249千坪
トラック保有台数	25台	30台
建て方棟数	725棟	1,040棟
建築完工	188物件	280物件
大型木造施設 (完工)	27物件	15物件
保育所賃貸数	23物件	23物件
福祉施設・ アパート等賃貸数	43物件	51物件
不動産販売区画	10区画	30区画 (不動産販売：3年間累計)
建材販売	6.6億円	11億円

【プレカット事業】

- マーケット環境は、住宅着工戸数が減少傾向にあり厳しい状況。競合他社との価格競争も更なる激化が想定されるが、建て方等の職人の紹介を含めた『材工』による販売手法で適正利益率を確保。
- 取引先の裾野を拡大すべく、新規先や休眠先へのアプローチの取組を強化。

【建設事業】

- 提案型営業を強化し、不動産業者や工務店への新規販路拡大。
- 大型木造案件完工実績のアピールを行い、非住宅請負案件の増加。

【賃貸事業】

- 千葉市周辺の駅近を重点エリアとし、将来の戸建て・マンション分譲地となり得る物件への積極的な投資の継続。

【不動産販売事業、その他事業】

- 不動産販売事業は、自然エネルギー活用等、特色ある住宅の提案で、土地・建物を一括提案。
- 建材事業は、プレカット納入先へ建具・ボード等の販売強化。

財務体質の改善 2032年

✓既存保育所の借入金は2024年5月に完済。

✓有利子負債 25億円未満

2025年6月－2026年5月期

返済額 1,512百万円

残 12,235百万円

※リース債務を除く

既存不動産の賃料収入（見込）

年間賃貸収入 1,423百万円

既存保育所 年間賃貸収入 540百万円

その他不動産 年間賃貸収入 883百万円

05

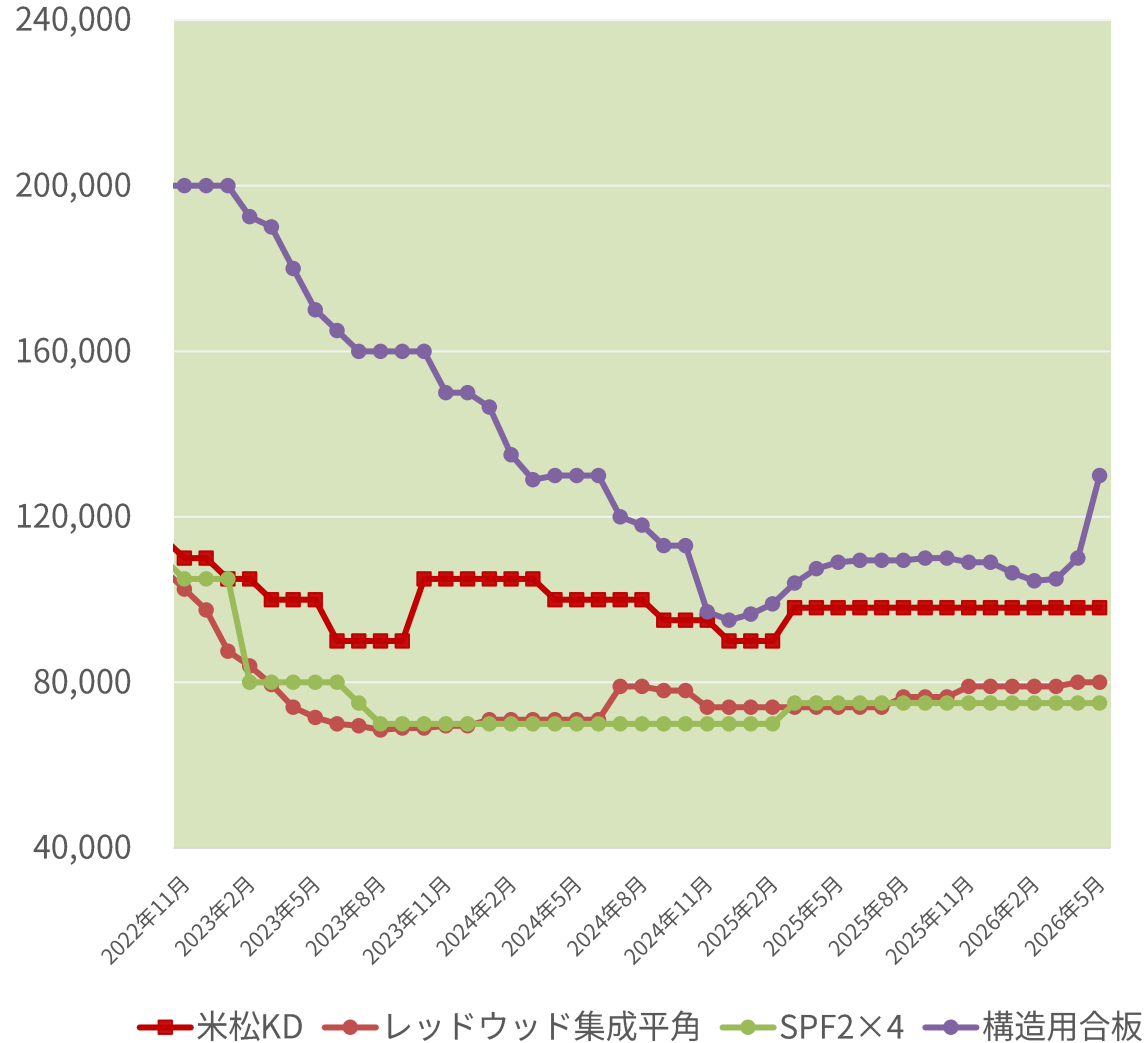
参考資料

- 01 当社の概要
- 02 2026年5月期 決算概要
- 03 2027年5月期 業績予想
- 04 中期経営計画2028 進捗状況
- 05 参考資料

国内の木材価格動向と当社プレカットの販売価格（1棟当たり平均）

国内の木材価格動向

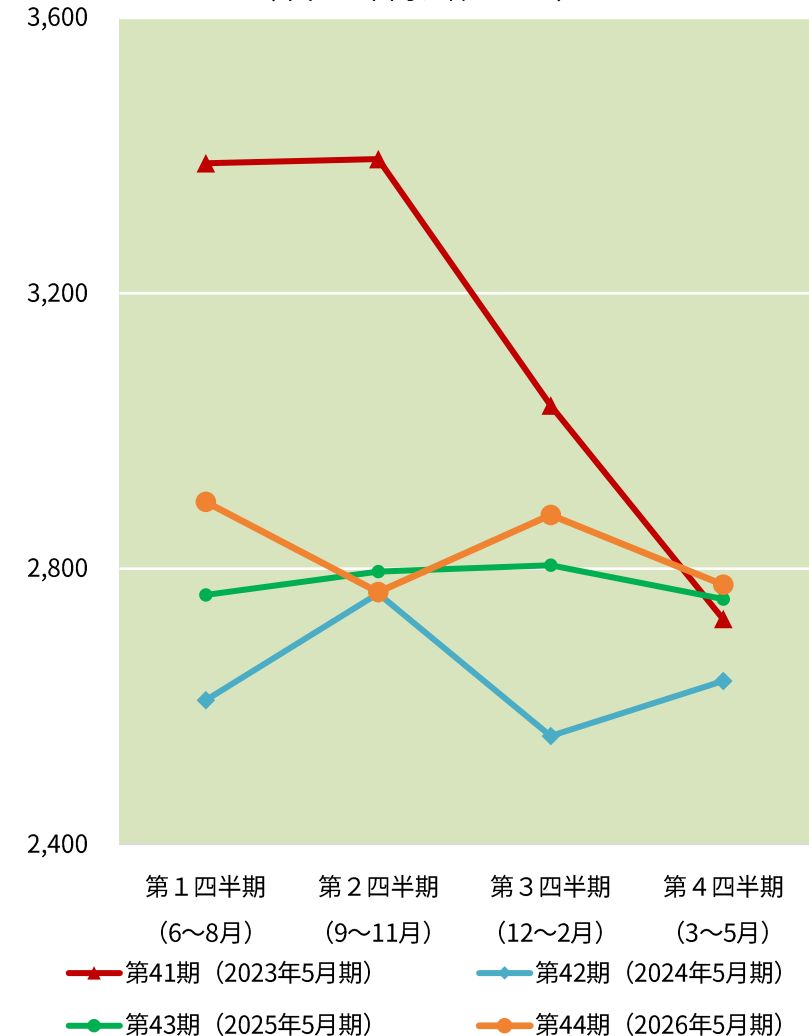
（単位：円、㎡あたり、構造用合板は12mm厚100枚あたり）



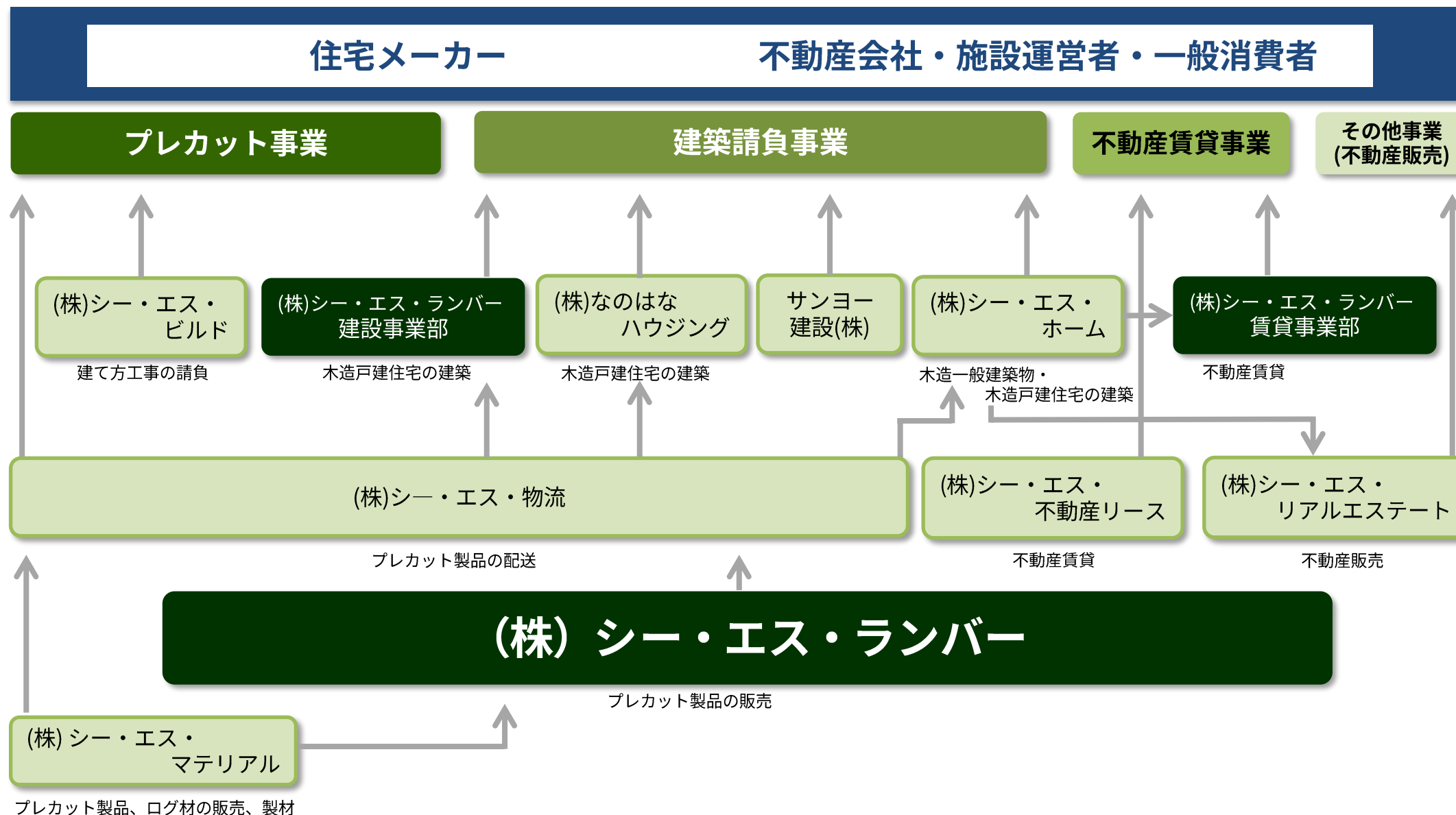
出所：日刊木材新聞

当社プレカットの販売価格（1棟あたり平均）

（単位：千円、棟あたり）



出所：当社決算短信



在来軸組工法における設計（CAD）、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法（山武工場）

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補強する



ツーバイフォー工法（東金工場）

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床（面材）で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入（2019年）



カンントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入（2020年）

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA（アタ社）様の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、鉄骨から木造への脱炭素の動き

木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ

年間200棟の施工

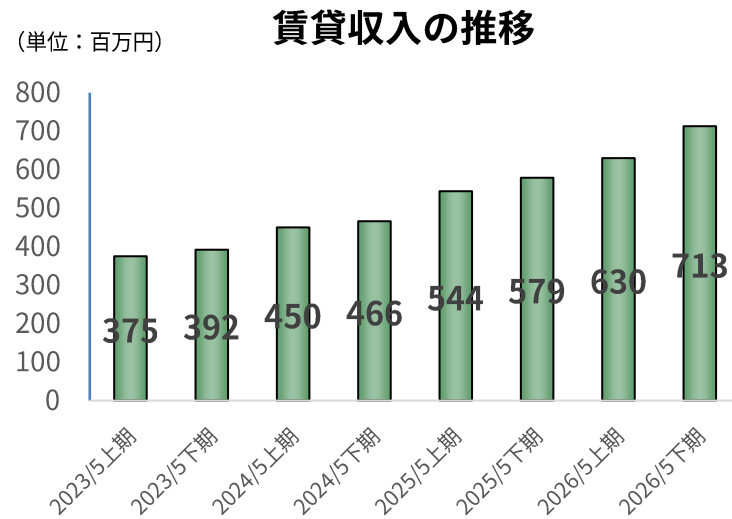
共同住宅（千葉県佐倉市）



住宅型有料老人ホーム（千葉県成田市）



長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理



共同住宅 (千葉県千葉市花見川区)



共同住宅 (千葉県千葉市花見川区)



保育園 (東京都江戸川区中葛西)



付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造

プレカット事業

歩留まり（端材の削減）の追求力



木材の仕入れ



加工



配送

- 木材の豊富な知識を活かした仕入力、提案力
- 木造建築の主要2工法へ対応した安定力
- コスト競争力(歩留まり追求力)、供給力、高品質
- 首都圏特化による現場対応力、効率性
- 強い顧客基盤

建築請負事業



建築

不動産賃貸事業



賃貸・管理

その他事業（不動産の販売）



住宅用地の販売



住宅販売

当社の強み（2）プレカット事業（在来軸組工法 山武工場）

ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・ コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・ 材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



プレカット加工ライン



- ・ 加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・ 製品の**品質安定化**にも貢献

当社の強み (3) プレカット事業 (ツーバイフォー工法 東金工場)

全部位（壁・床・屋根）のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、
付加価値の高い製品を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ 広大な敷地（68,435㎡）の東金工場に設備を集約し、パネルの大量生産・保管、安定供給体制を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、効率化された自社配送

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、機械化を推進
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品

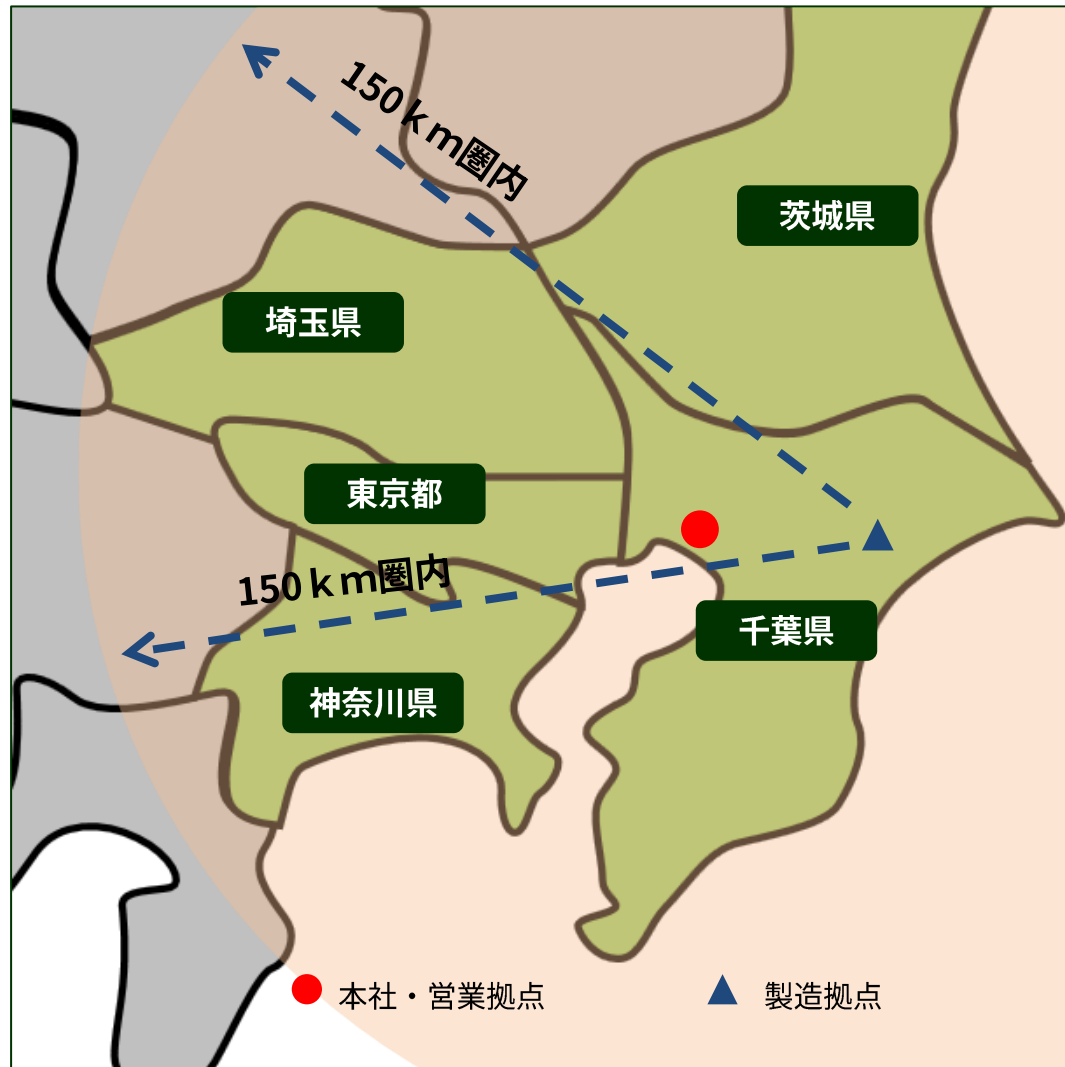


パネルシー징ライン
(自動釘打ちマシン)

- クロス（直切り）カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシー징ライン 2ライン

当社の強み（4）プレカット事業（首都圏に特化）

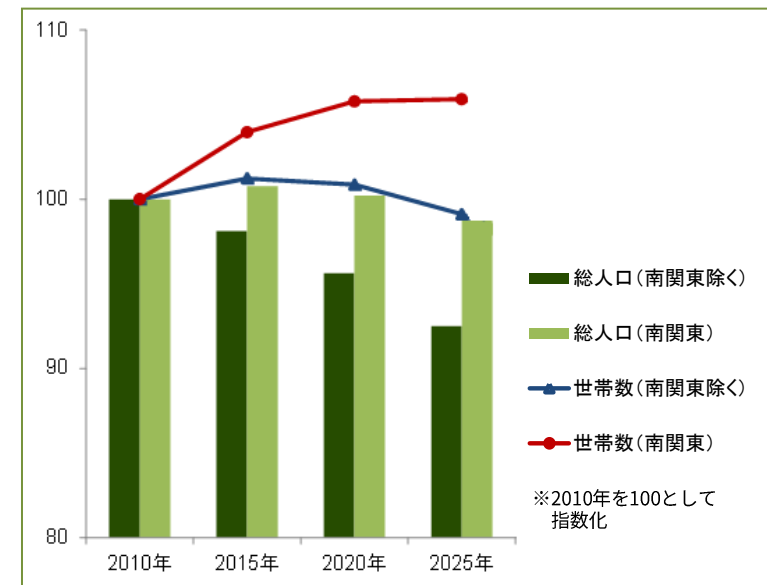
人口が集中する首都圏（1都4県）に絞った生産・営業拠点



展開エリアを絞ることにより

・お客様のニーズへの迅速な対応
(企画・設計・アフターサービス)

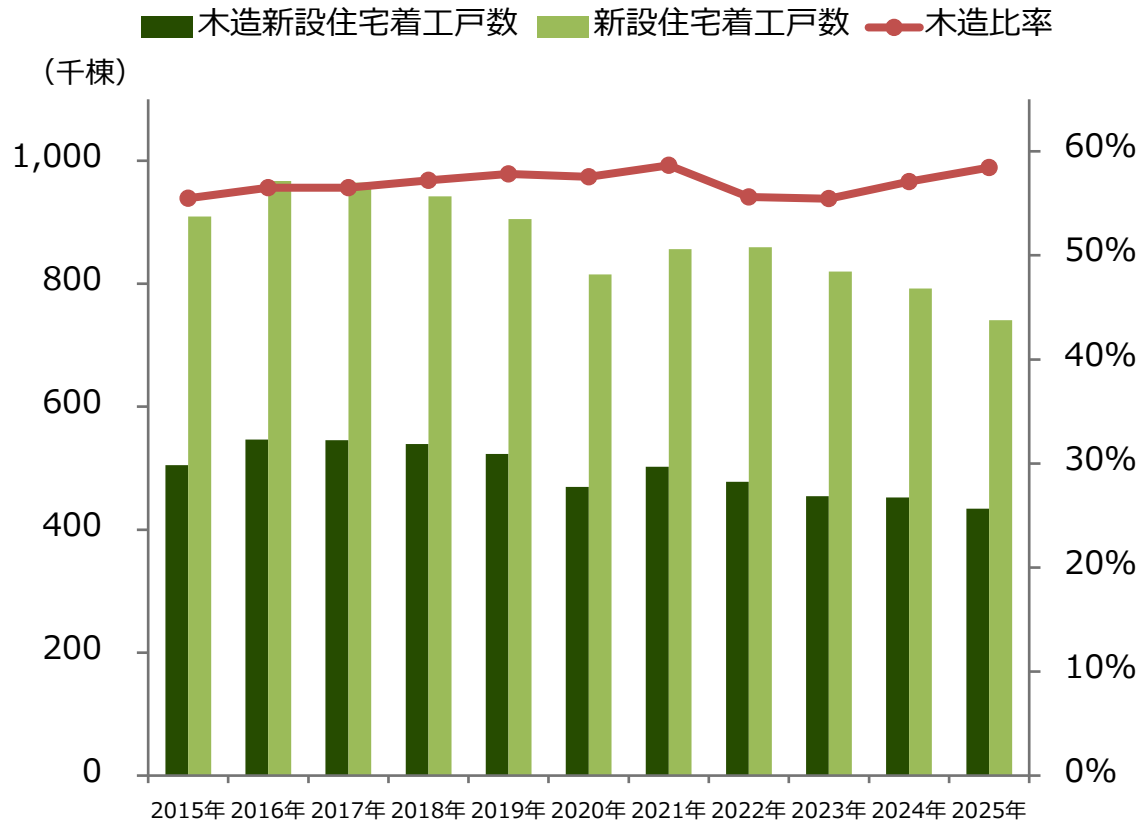
・営業効率
・配送効率 } 生産性向上による
コスト競争力



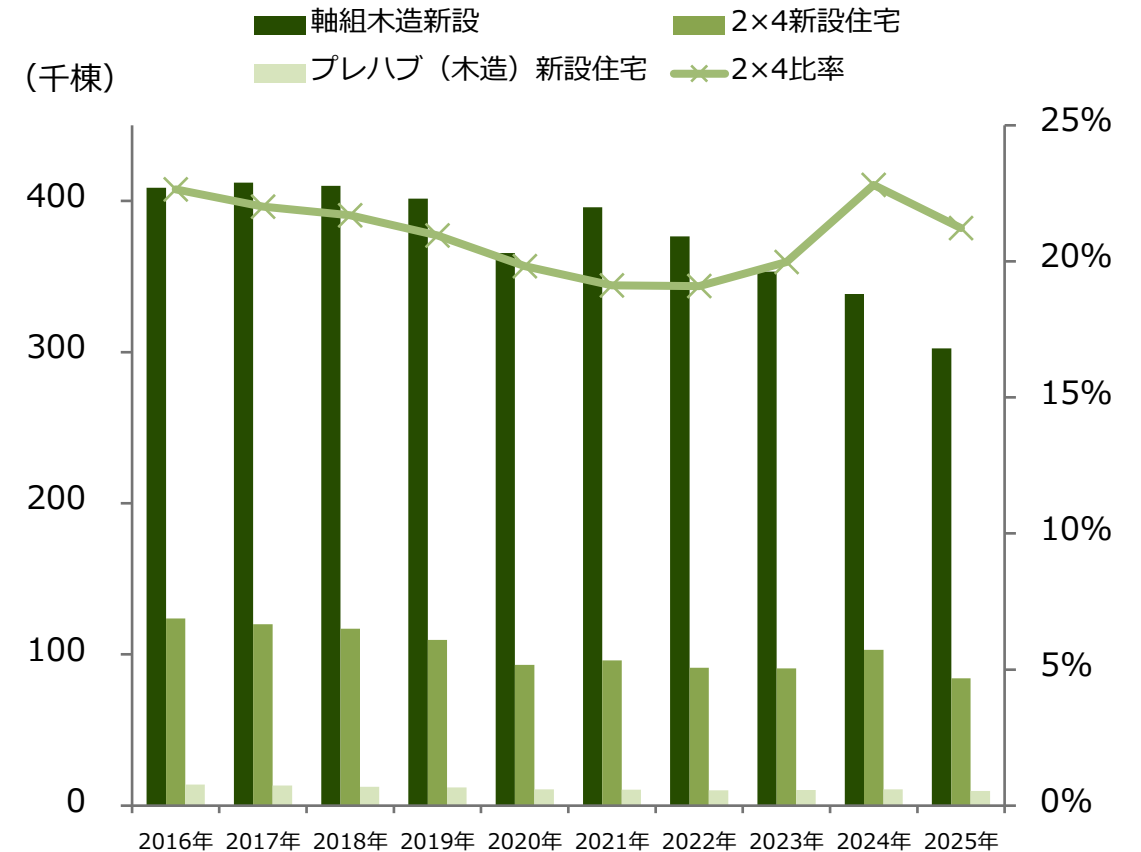
出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

木造建築の市場動向

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省「建築着工統計調査住宅着工統計」より当社作成

サステナビリティ 持続可能な社会の実現に向けて

E

当社グループで展開している事業は、炭素を貯蔵する働きのある木材資源を有効活用していくビジネスモデルとなっており、事業の発展を通じて、地球環境の維持、特に地球温暖化防止に対して、積極的にその役割を果たしてまいります。

木材資源に関する 3 R 活動
 合法木材の利用推進
 再生可能エネルギーの利用推進
 省エネルギー化の促進

S

プレカット事業、建築請負事業において、ISO9001を取得しており、プレカット製品の設計、製造、建築物の設計、施工などの品質維持・向上を図っております。

少子化・待機児童対策
 雇用形態による労働条件格差の是正
 年次有給休暇の取得の促進
 労働環境の多様性
 多様な人材の採用
 労働安全衛生・メンタルヘルス

G

木材に関する事業を通じて、お客様に満足して頂くとともに、株主・従業員・取引先等、すべてのステークホルダーとの良好な関係の構築による企業価値の向上を目指してまいります。

社外役員によるガバナンス
 コンプライアンス推進体制
 リスクマネジメント体制
 内部通報制度

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



ESGに関する取り組みの詳細については、ホームページ等を通じて、今後、随時 更新・公開してまいります。

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

執行役員 管理本部 部長 上原 隆

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。